

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域の産業や文化について考える》
- 2 単元名 『大好き！井原』（全３０時間＝実施時期：6月～9月）
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

自分たちが住んでいる井原市に関心を持ち、興味をもったことについて情報を収集し、集めた情報を分類したり整理したりする活動を通して、自分たちのふるさとのよさに気づき、自分たちの地域を大切にしていけるために、できることを考えることができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・井原市のよさについて考え、課題を見つける。	・身近な人にインタビューをする。 ・井原市に関するパンフレットや本、インターネットで調べる。	・井原市について集めた情報を分類したり整理したりする。 ・調べたことからどのような魅力があるのかを話し合い整理する。	・グループで調べたことを模造紙にまとめ、他のグループと交流する。
引き出したい姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）	井原市のよさについて、自分の知っていることや経験したことをもとに見つけることができる。	ゲストティーチャーにインタビューをしたり、パンフレットやインターネットを活用して調べることで、井原市のことをより多く知ることができる。		井原市のよさについてまとめたことを発表することを通して、井原市や出部地区の一員だということを自覚することができる。
	やり抜く力 （忍耐と向上心）	井原市のよさを見つけるとともに、井原市の課題についても考え、解決するための方法を考えることができる。			
	まき込む力 （発信と協働）			調べたり、話し合ったりしたことを共有することで、多面的に考えることができるようになる。	井原市のよさや課題について話し合う際、友達に対して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
仕掛け・工夫	もの	井原駅や官公庁	パンフレット 公民館だより 市広報 インターネット 美星で体験		
	ひと	公民館長	親 ゲストティーチャー		
	しごと （こと）	井原市で働いている人や身近な商店			出部地区や井原市のよさをまとめたものを公民館に掲示してもらう
アウトプットの工夫		グループごとに発表を聞きあったり、クラスごとに交流し合ったりする。発表会に地域ボランティアの方をお招きし、学習成果の発表を聞いてもらう。（R4は実施できず）			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

秋の旅行（美星で体験）

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

ミニでんちゅうさんになろう。（市の取組・・・夏休みに参加する（希望者））

◆単元のねらい「自分たちが住んでいる井原市に関心をもち、興味をもったことについて情報を収集し、集めた情報を分類したり整理したりする活動を通して、自分たちのふるさとのおよさに気づき、自分たちの地域を大切にしていけるために、できることを考えることができるようにする。」

